

都筑区自治会町内会長研修

令和4年度

- 1 地域づくりは何が大事?!
- 2 現代の自治会の役割・機能
- 3 事例から今後の地域づくりを考える

18:35-19:20	石井から話題提供
19:20-19:30	感想を参加者同士で共有
19:30-19:45	参加者からの質問や情報提供 (こんな方法もあるよ)



国立大学法人 宇都宮大学
地域デザイン科学部 石井大一郎

神奈川 to 栃木

自己紹介

2015

認定NPO法人市民セクターよこはまの理事・事務局として、横浜市市民活動支援センター副責任者、西区市民活動支援センターを担当。この他、**地域づくり大学校**、よこはま食事サービス連絡会事務局、**自治会町内会のまちづくり支援**を担当。

委員等：

- 横浜市**協働**事業検証推進会議 委員2008-10
- 横浜市**男女共同参画**センター北 市民運営協議会2010-2013
- 藤沢市都市景観審議会委員2004-14
- 平塚市市政アドバイザー2013-14
- 港南区、保土ヶ谷区等のまちづくり支援や、ヨコハマアートサイト等で助成金審査員

その他：

横浜市市立大学等でコミュニティ政策に関する非常勤講師。一級建築士。

宇都宮大学地域デザイン科学部准教授
のほか、**一般社団法人**とちぎ市民協働研究会副理事長。栃木県を中心に、**まちづくり塾**主宰、**自治会町内会のまちづくり支援**を行う。

委員等：

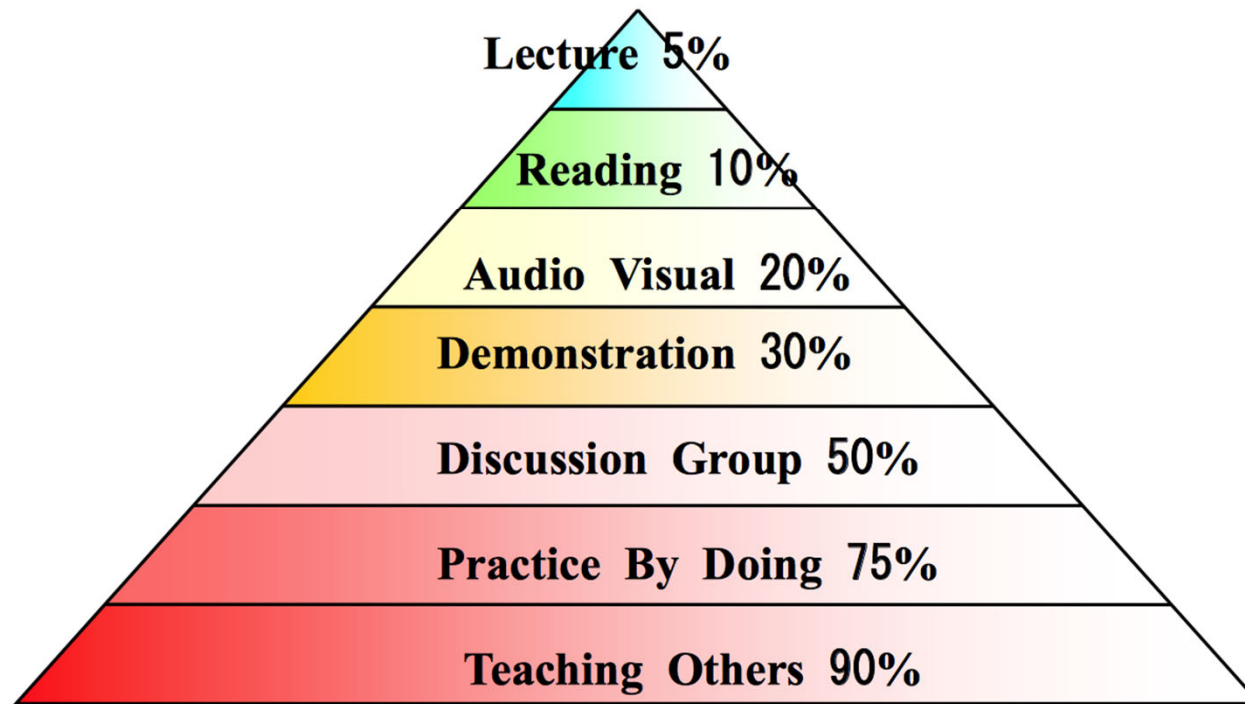
- 宇都宮市総合計画審議会委員
- 栃木県ふれあい学習推進委員会委員長
- 宇都宮市みんなでまちづくり協議会座長
- 宇都宮市魅力ある**学校**づくり地域協議会支援会議座長
- 宇都宮市**空き家**会議会長
- 栃木市男女共同参画審議会会長

その他：

登下校見守りボランティア、ぼうじぼ広め隊、下宿街復活PJ

学習定着率「Learning Pyramid」

(出典：National Training Laboratories)



米 National Training Laboratories が 平均学習定着率(Average Learning Retention Rates)を調査したもので、授業から半年後に内容を覚えているどうかを、学習形式によって分類比較したものである。

地域
づくりは
何が
大事?!

これからの地域づくりで重要だと思ふことを、漢字1文字で表すとどんな一文字になりますでしょうか。3つまで教えてください。

正解はありませんから…

知る 聴す

- 地域で活動する団体

①

- 地域の実態を把握するデータ

①

- 施策や事業

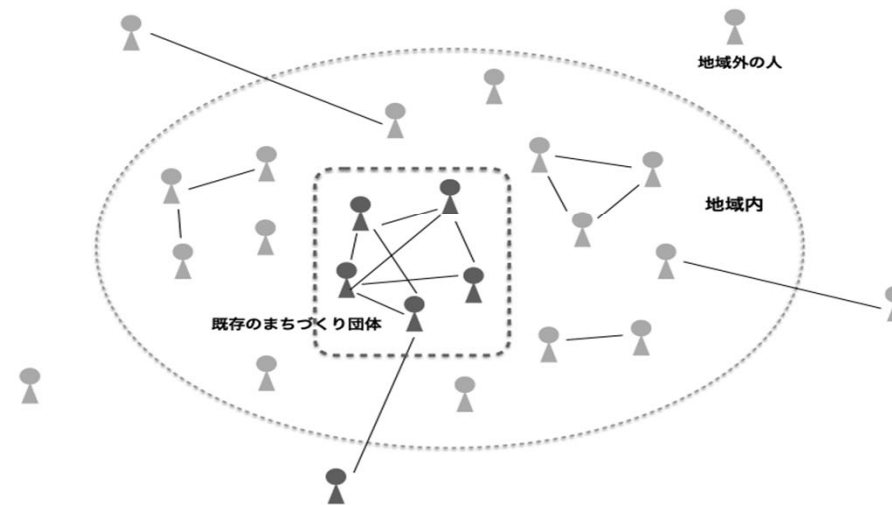
- キーパーソン

- 施設、居場所

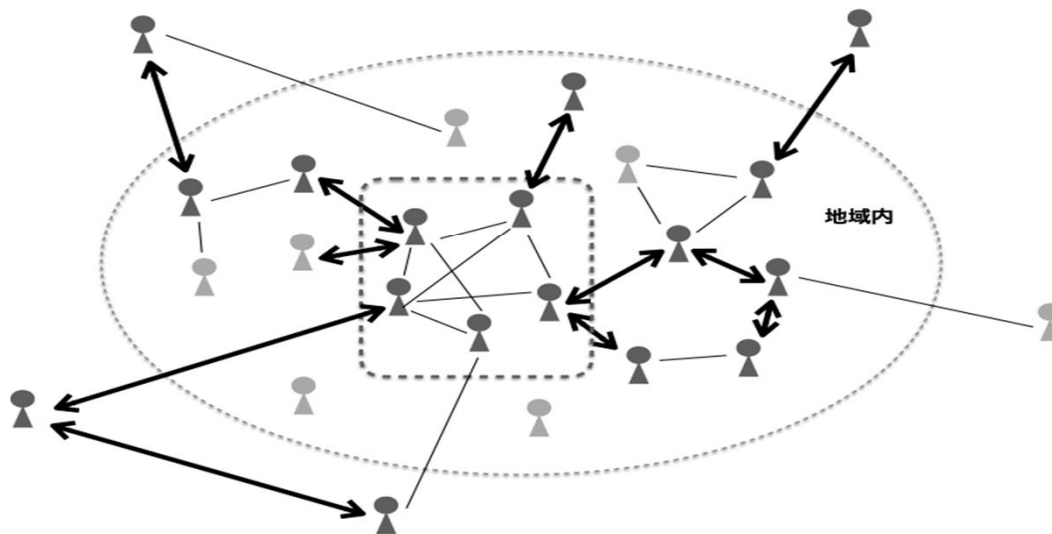
①

- 歴史、宝もの

段階1 一部のメンバーで地域活動を行なっている段階。活動やメンバーは固定的。



段階2 地域内外の新しい人とつながり、一人ひとりの意識や行動が変わり始める。





アイデア 1

称えあいパーティー

専門家



自治会長



消防の運転
手さん



子育て中（小
3）のママ



年長さんのお友だちグループ



連携する (協働する)

異なるセクター

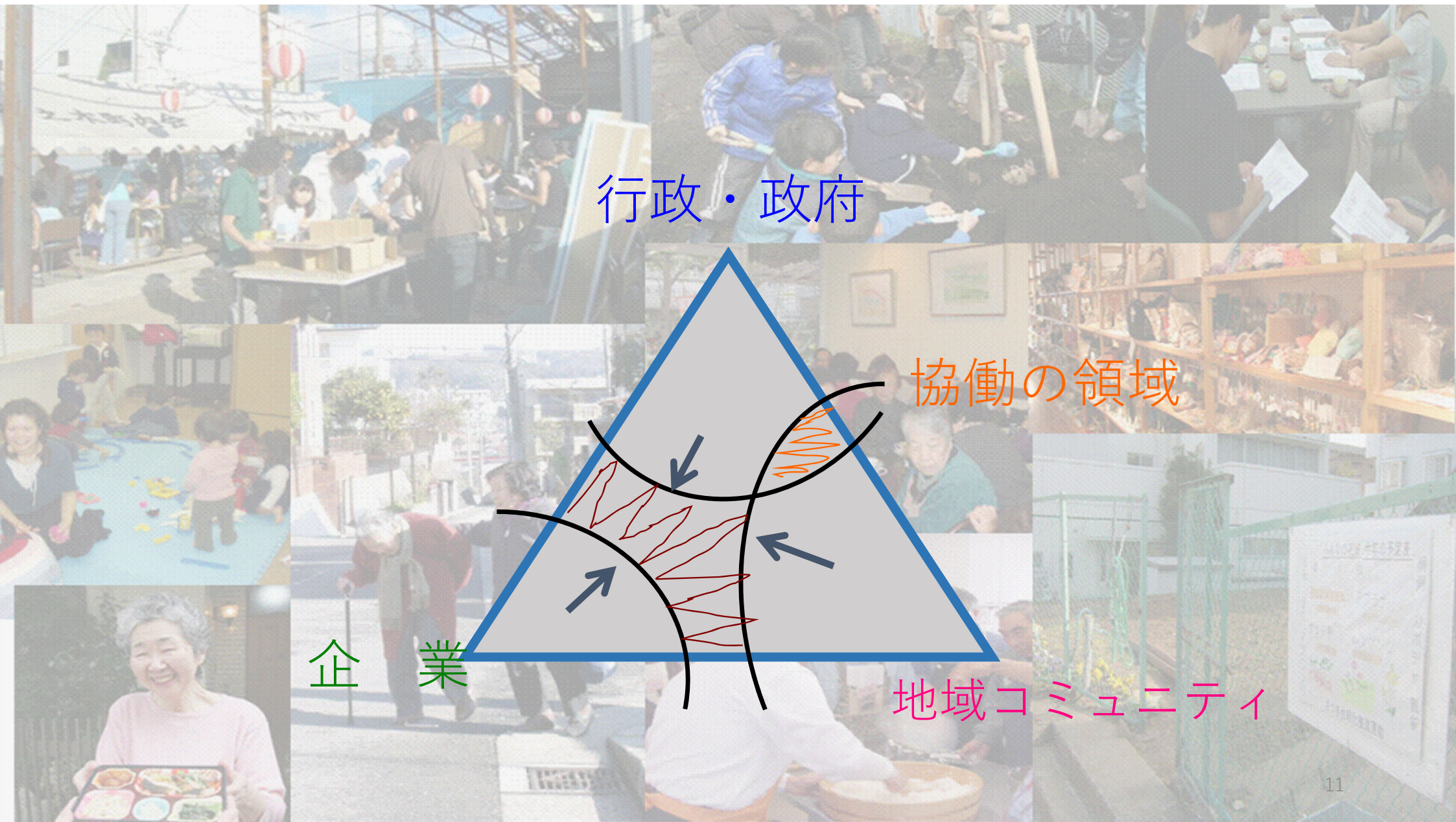
異なる地域

異なる世代

アイデア 2



自分ごとにしてもらう意見交換の場づくり



行政・政府

協働の領域

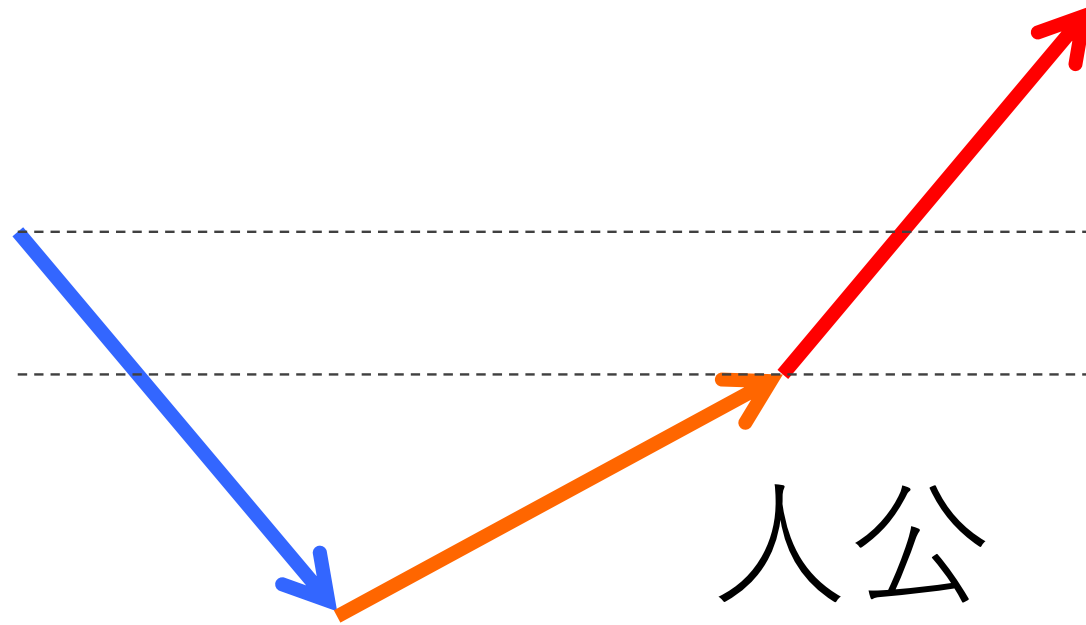
企業

地域コミュニティ

縮充社会という考え方

©山崎亮

人口



人交

人公

問い：

地域の「より多くの人」にとって必要だと考える地域の活動にはどのようなものがあるでしょうか。

そしてそれは誰が担うのだろうか。

改めて、現代の自治会・町内会を知ろう！

n=2,530 ※複数回答

出典：2016年度横浜市自治会町内会・地区連合町内会調査

自治会町内会の役割を 考える。

活動分野	現在、実施している		今後、力を入れていきたい		縮小又は廃止したい	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
回覧板などによる情報の共有 (各戸配付・掲示板の管理など)	2,442	96.5	55	2.2	13	0.5
お祭り・イベントの開催 (催事・旅行会など)	2,145	84.8	122	4.8	21	0.8
防犯活動 (防犯パトロール、防犯灯の維持管理など)	2,096	82.8	227	9.0	6	0.2
福利厚生 (会員への慶弔事業など)	2,084	82.4	125	4.9	25	1.0
街の美化事業 (清掃活動・花壇設置など)	2,033	80.4	225	8.9	12	0.5
防火防災活動 (避難訓練の実施、防災マップの作成など)	1,997	78.9	445	17.6	9	0.4
3 R 夢行動 (ごみの減量・再資源化)	1,812	71.6	455	18.0	7	0.3
会員の健康づくり・スポーツ・ レクリエーション (ウォーキング会・ラジオ体操・運動会など)	1,721	68.0	351	13.9	14	0.6
福祉事業 (高齢者や障害者への福祉活動など)	1,538	60.8	544	21.5	7	0.3
仲間づくりを目的とした事業 (趣味の教室・地域交流拠点(サロン)など)	1,383	54.7	431	17.0	7	0.3
交通安全活動 (交通安全運動期間中の啓発活動など)	1,273	50.3	490	19.4	10	0.4
子育て支援 (親子の居場所づくりなど)	669	26.4	611	24.2	6	0.2
温暖化対策 (啓発活動・緑のカーテン設置など)	378	14.9	678	26.8	11	0.4
その他	146	5.8	34	1.3	3	0.1

- ①環境美化機能
- ②共同防衛機能
- ③情報伝達機能
- ④親睦機能
- ⑤地域代表機能
- ⑥課題発見／解決機能
- ⑦地域コミュニケーション
力向上機能



地域づくりの教科書 (税込2000円)



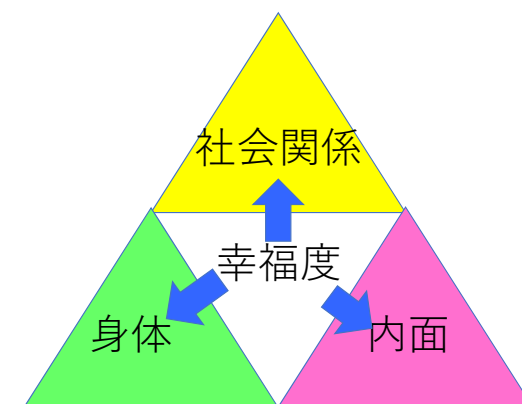
●自治会の機能
●新しい地域自治組織

P133-159

最近のコミュニティ研究で注目されていること 「つながり」「幸福度」

すべてのイベントや活動
で大切にしたいこと

- (1) 子供や老年に比べると中年は不幸な傾向がある[Stone et al., 2010] [林・2003]
- (2) **健康**は主観的幸福に大きな影響を及ぼすことが知られています
[Edwards and Klemmack, 1973] [Larson, 1978]
- (3) 月に一回**同好会の集まり**に参加したり、月に一回**ボランティア活動**に参加することは、所得が倍増するのと同じくらい幸福感が高まる[Helliwell & Putnam, 2007]
- (4) コミュニティには**責任ある立場**で接した方が長生きだ。
- (5) 年収 **700万円**を超えると幸せ感に差が出ない。
- (6) **つながりの数**が多い人ほど幸福度が高い [石川善樹,2014]
- (7) **地域への愛着度合い**が強い人ほど幸福度が高いこと、
近所に信頼できる人がいる人ほど幸福度が高い
[小谷 みどり,2013]

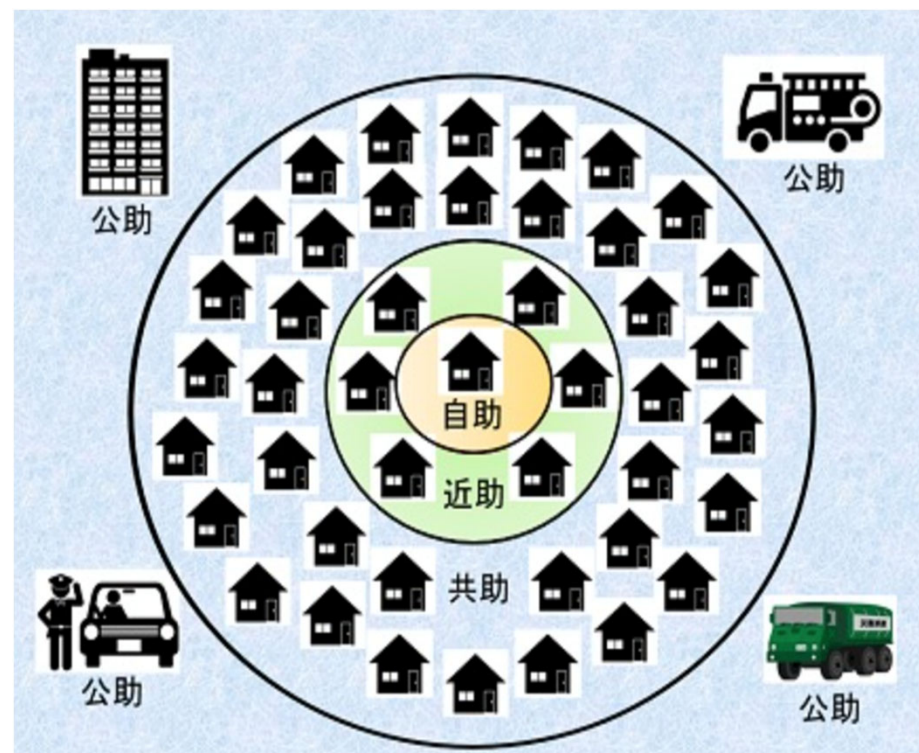


親睦やコミュニケーションの先に

「近助」の精神

©防災システム研究所 山村武彦

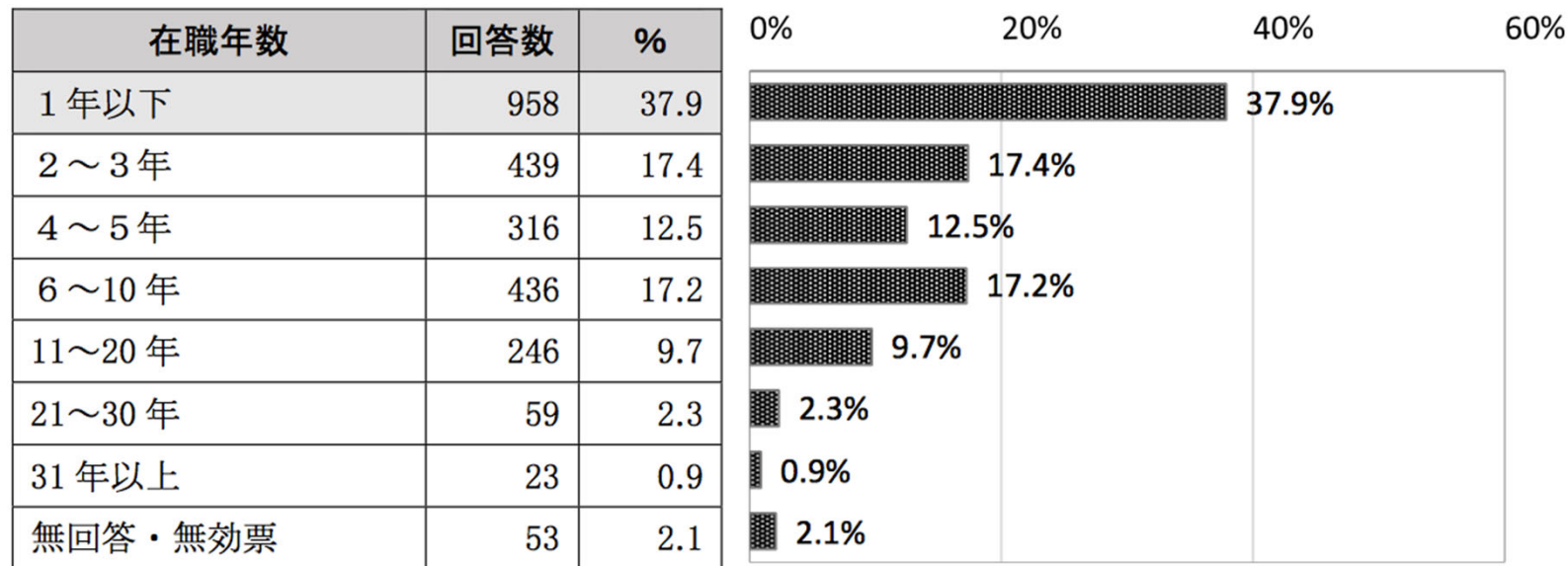
- 阪神淡路大震災 死因「87.8%-圧死」「10.0%-焼死」
* 兵庫県警監察医調べ6434人を対象
建物設計が1981年以前の場合は特段の注意が必要！
(阪神淡路大震災でも実証された)
- 生き埋めや閉じ込められた際の救助
「34.9%-自力」「31.9%-家族」「28.1%-知人・友人」
「2.6%-通行人」「1.7%-救助隊」
* 一般社団法人日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」



自治会運営の課題

つぶやき：輪番制で何もできない!!

n=2,530



アイデア 3

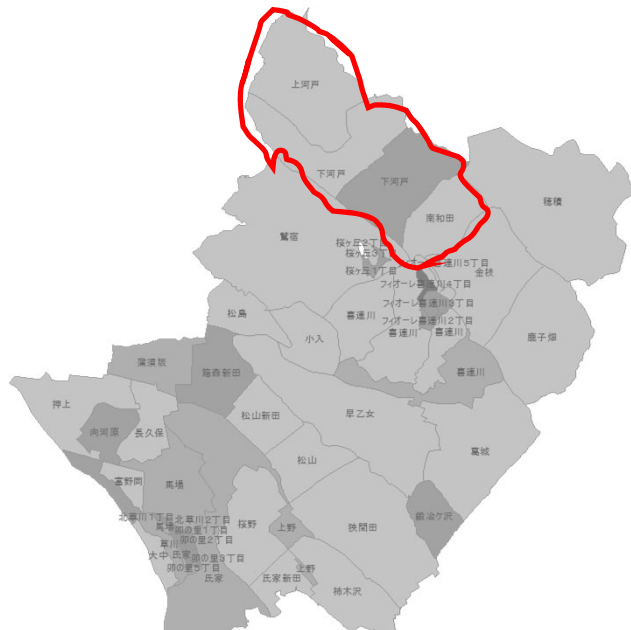
自治会内に、継続したプロジェクトを実施する特別チーム（専門組織）をつくろう！

米沢市朝日町・・・まちづくりコンサルタント

さくら市河戸地区・・・こうと会（自治会や民生委員OB・OG）

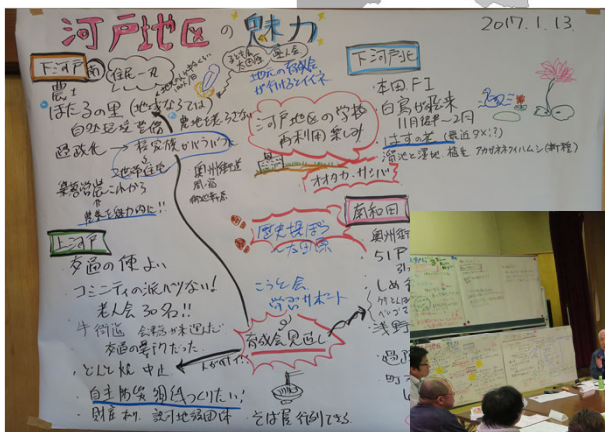
横浜市内多数・・・〇〇委員会、△△プロジェクトチーム

地域コンサルタントをつくっちゃえ！



こうと会

- ・元行政区長、民生委員ら
- ・4行政区（旧こうと小）の仲間
- ・専門性やネットワークを発揮
- ・サロン活動、交流まつり、寺子屋、まちづくり勉強会など



地域づくりのプロセス

市民:ビジョンを共有する仲間づくり

行政:きっかけ作りと応援団

●問題発見や共有に必要なコアメンバーが集まる場をつくる。

●問題発見や共有に必要なデータ作成。

- ・役場の力を借りる。
- ・絞り込みすぎず大局的に捉える。

●行動していくキーパーソンを集めるきっかけづくり。

●やる気をアップする情報収集。

- ・先進事例に関する情報提供。
- ・支援メニュー、助成金、活動場所など。

●住民や関係者と情報を共有する。

- ・まちあるきや、ワークショップを開催。
- ・全住民対象アンケートの実施。

●公募や口コミで仲間を増やす。

●1-3 原則を確認しつつ、事業実施のための専門性を獲得。

- ・視察、勉強会の開催。

●組織づくり、体制の見直し

- ・会計、コンプライアンスなど。

2～3年

つぶやき：仲間や担い手を増やしたい!!

巡回型、そして出番をつくって
仲間を増やす



異年齢の子どもとの
コミュニケーション



大人も出番

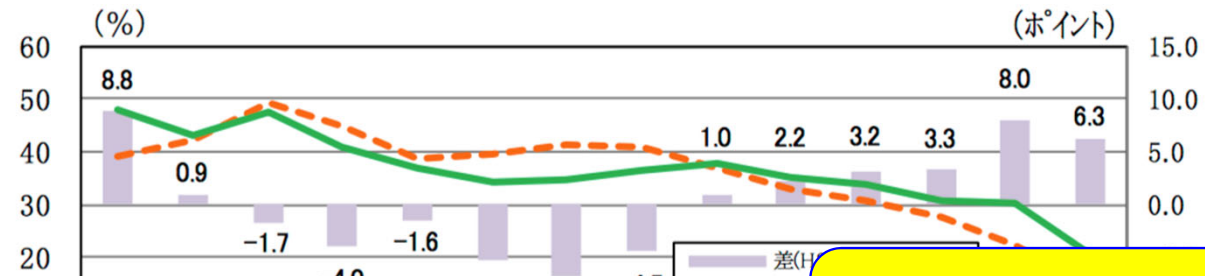
アイデア 4

利用者が活動の理解者となり、
月に一度くらいであれば手伝い
たいと仲間になっていく。

事例：栃木県市貝町

社会生活基本調査（総務省）

● 学習・自己啓発



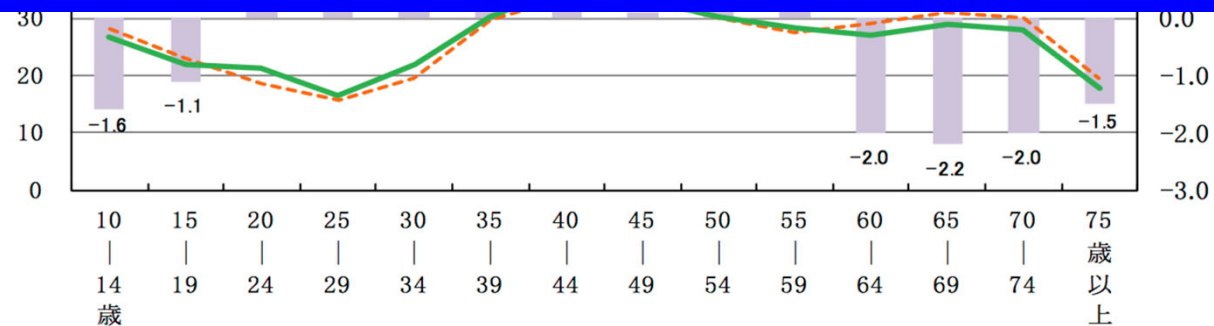
● 社会生活基本調査（総務省）

人間の行動を3種類に分けて分析

- ・ 1次行動—生理的に必要な行動（睡眠等）
- ・ 2次行動—仕事、家事、育児など拘束的な行動
- ・ 3次行動—学習、趣味活動、市民活動など

2次行動は増加から横ばいへ

● ボラ



つぶやき：加入率をUpしたい!?



◆直接知り合うきっかけつくりたい・・・

ケース① ウェルカム・ミーティングの開催、ゲスト扱い

◆今までつながりの無い人でも、やる気のある人や、間違いなさそうな人がいれば誘いたい・・・

ケース② アンケートの記述や設問内容の工夫

例：提案、アンケート結果の返送などで連絡先を聞く

ケース③ 公募で！仲間集め

◆なんとかAさんを誘いたい！

ケース④ この際、下から行く作戦

例：アドバイザー

◆大学生にも入ってほしい!!

ケース⑤ 会員になると、スーパーや喫茶店で割引

関係人口のように考えると、住んでない人がサポート会員になってもらったり

アイデア 5

パブリックリレーション（PR）
できているか

あなたの大切な人を守ろう！

「ちからこ部」入部募集

（旧町内チャンピオンマッパ特技登録制度）

あなたのできることを何でも登録して下さい

あなたができることを必要としています

あなたがもっている“技”や、あなたに“できること”を、災害が発生する前に登録していただく募集（入部）のお願いです！

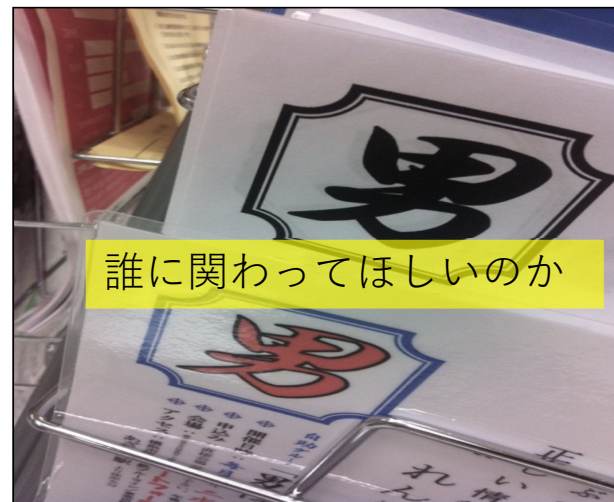
多彩な「ちからこ部」のメンバーとあなたの大切な家族は、限りなく命が助かる近道を手に入れることができます。では、あなたも参加してみませんか？

災害発生後には、どうしても大切な人を残して仕事に向かわなければならないということは、大切な人を守ってくれるのは誰でしょう？「地域の人たち」です。そのためには、日頃から地域活動に参加することであなたの大切な人を守ることに繋がります！自分の大切な人を守ってくれる地域を自分たちで日頃から創り上げることで、残されたもの同士が「助け合えるシステム」が構築されるのです



親しみとユニークさ
のあるネーミング

75歳 氏名	佐所 清子	性別	女	血液型	O
男・女	生年月日	年	月	日	
出来ること（〇を付けてください） ①. 掃除 ②. 洗濯 ③. 買い物 ④. 留守番 ⑤. ふとん返し ⑥. 保育 ⑦. 朗読 ⑧. 手話 ⑨. 教養 ⑩. 代筆 ⑪. 読書 ⑫. 音楽 ⑬. 絵画 ⑭. 話し相手 ⑮. 通院介助 ⑯. その他					
得意なこと	特技・資格	趣味・習古	先送りにしない 月功、水泳		



誰に関わってほしいのか



様子を伝え安心してもらう
（写真・ビジュアル大事）

声かけの3段階方式

元下和泉連合自治会会長

連合自治会長で地域運送
NPOを設立したS会長

担い手をスカウトするための 3ステップ♪



1

まずは少し遠回しに。次に会った時は本気で。最後に改めてお願いします。

いてそうだなという方に、最初は少し遠まわしに誘うのがコツです。大抵「無理」と言われますが、当たり前の反応なのでここでめげずに、別れ際は「期待しているよ」の一言でしめしましょう。

2

そうな場所に出向くなどして「偶然」出会うように心がけます。出会ったら今度は本気で誘います。「私なんかにはできるかな」「考えておきます」という言葉が出れば脈ありですが、ここでは決断を迫りません。

3

その後はあまり間をおかず（できれば1週間以内）に、「よろしく頼みます」とお願いする機会を作ります。偶然会えればいいですが、会えそうにない場合はご自宅まで出向くこともあります。そこで「はい」という返事が得られたら、スカウト成功です。

《NPO法人 あやめ会》泉区下和泉住宅地区で高齢の方などを対象に車による送迎活動を行なっているNPO法人

利他的動機アプローチ

心理的要因

利己的動機アプローチ

利益、報酬



複数動機アプローチ

アイデア 6

人々は複雑な動機を持つ

動機構造を構成する種類や強弱も人それぞれ

- ・ ボランティアの心理を多面的に捉えられる
- ・ 近年の研究の主流となっている

VFIモデル (Volunteer Functions Inventory)

①価値

利他的動機
信念

②理解

社会勉強
人生経験

③社会

つきあい

④キャリア

スキルアップ
キャリア開発

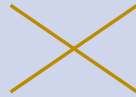
⑤防衛

ネガティブな動機
ex) 罪の意識
現実逃避

⑥強化

ポジティブな動機
利己的動機
自尊心を高める

VFIモデルだけじゃ足りない？

因子名									
日本の 先行研究	利他心	自己成長	社会適応	技術習得 ・ 発揮		レクリエーション	利得・ 損失	規範的参 加	...
VFI	価値	②理解	③社会	④キャリア	⑤防衛	⑥強化			

- ・ 因子は約10の型に当てはまる
- ・ VFIモデルでいう「**防衛**」に当てはまる因子が確認されていない

ボランティアの参加動機構造の調査

- 期間：2002年4月から6月
- 対象：京都市内のボランティアグループや組織に所属する人
- 有効回答数：287
- 質問項目：Cnaan and Gold-Glen(1991)の28の項目モデル（修正で27項目）
 - ⇒VFIの質問項目をカバーしているモデル
 - 1から5までの5段階で回答

参加動機の構造（7つの因子）

①自分探し

- ・ 暇を持て余す
- ・ 自己成長感

②利他心

- ・ 理想
- ・ 利他的

③理念の実現

- ・ 学校や職場での勧め
- ・ 理念に基づく

④技術習得・発揮

- ・ 技術や知識を身につけたい
- ・ 社会勉強

⑤レクリエーション

- ・ 新たな交流
- ・ 活動自体を楽しむ

⑥社会適応

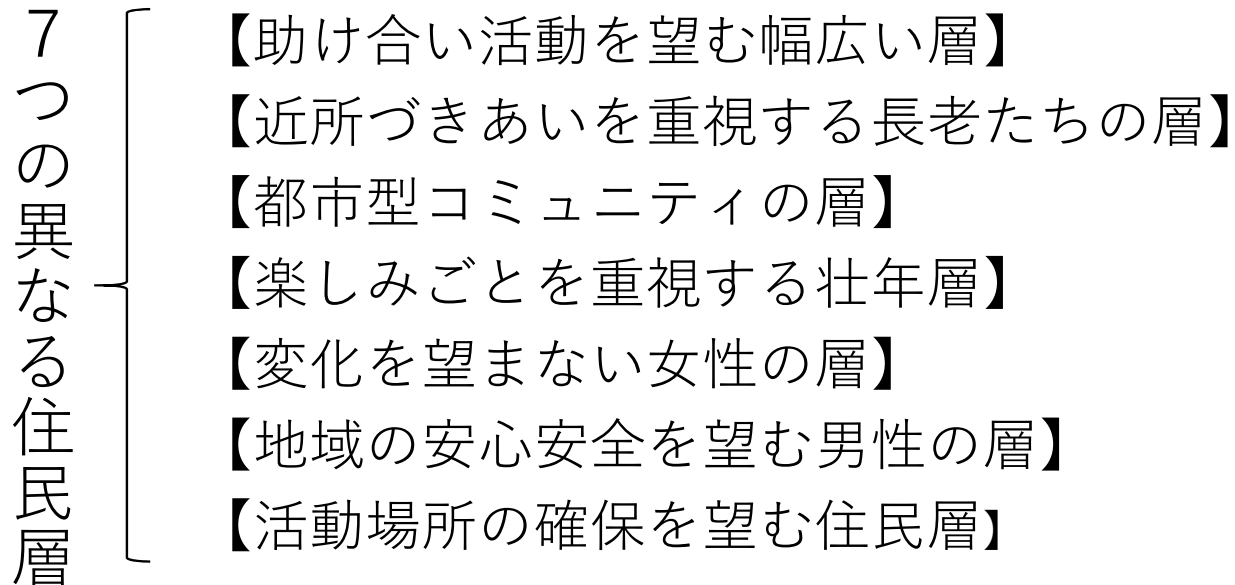
- ・ 知り合いがいる
- ・ 似たような活動の経験

⑦テーマや対象への共感

- ・ 同じような境遇を持つ
- ・ 共感的な意識

異なる住民層の存在と合流活動 (Attractive Activities)

15の活動群と属性を合わせた17の変数による主成分分析結果による。©石井大一郎「



7つの住民層が合流しやすい活動とそうでない活動を相関係数のスコアの得点から分析する。

合流しやすい
活動とそうではない活動がある。

趣味やお稽古ごと
のできる活動

自治公民館を自由に
使えるようにする

子どもの居場所や
学習支援

祭りや催し

事例：避難所運営キャンプ

アイデア7

賛同を得やすい事業で、
仲間を増やしながら楽しむ。



ダンボールタウン ～遊び、教えあい



みんなの気がりについて町会と連携して講座を実施

認知症講座を開催
100人以上
演劇仕立て

みんなの気がかりは町会で。



年齢層による差異

- 若年層

「自己成長と技術習得・発揮」と「レクリエーション」の動機が強い
「自分探し」もやや強い

- 高年齢層

「利他心」「理念の実現」「社会適応」の動機が強い
「テーマや対象への共感」もやや強い

- 壮年層

特に強い動機は確認されなかった。

職業による差異

	主婦	退職者・無職	常勤雇用者	専門職	自営業	パート	学生
自分探し		◎					◎
利他心	◎	◎			◎		
理念の実現	—	—	—	—	—	—	—
自己成長と 技術習得・発揮		◎	○	◎			◎
レクリエーション			◎			◎	◎
社会適応	◎	◎					
テーマや 対象への共感	—	—	—	—	—	—	—

園芸クラブ×そば打ち名人×自治会×公民館



まちの隙間を活かして花を咲かせよう！

まちをきれいにしたい！

うちのまちには結構
人がいるもんだ

ところでタダでいいのか。

食べる人が
イナイ!!!

どうせなら食べれる
ものがイイ。蕎麦!!

摘み取りには人手
が必要!!

トラックも必要だ。
もちろん運転手も。

蕎麦を打つ人は？
茹でてもる人は？

借り物競争のような
活動づくり

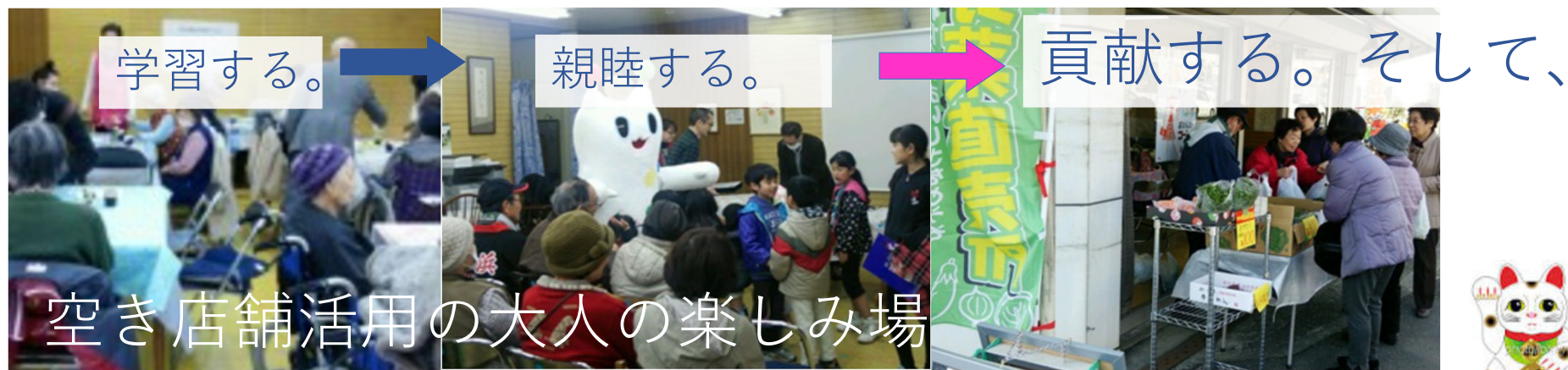
アイデア 8

休耕地 × 自治会 × 民生委員 × 保育園 × 飲食店



新たな住民層との関わり白

空き家 × 自治会 × 育成会 × サークルの先生



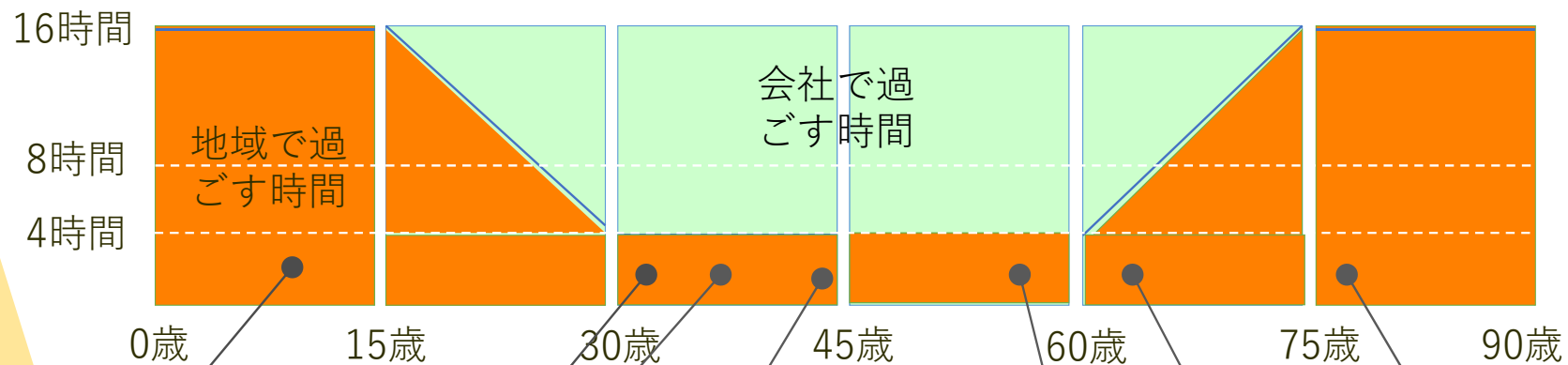
ちょっと儲かるとさらに嬉しい。



今後の地域づくりを考える

「居場所」

が育む地域の今・これから



若者まちづくり塾き



認知症カフェ

アイデア 9

サードプレイス—— コミュニティの核 になる

「とびきり居心地よい場所」

アメリカの社会学者レイ・オルデンバーグ



コミュニティライフの“アンカー”ともなるべきところで、より創造的な交流が生まれる場所。あらゆる社会は既に非公式の出会いの場所を備えていて、意図的に、現在の社会的ニーズに重要なそれらを追及している。

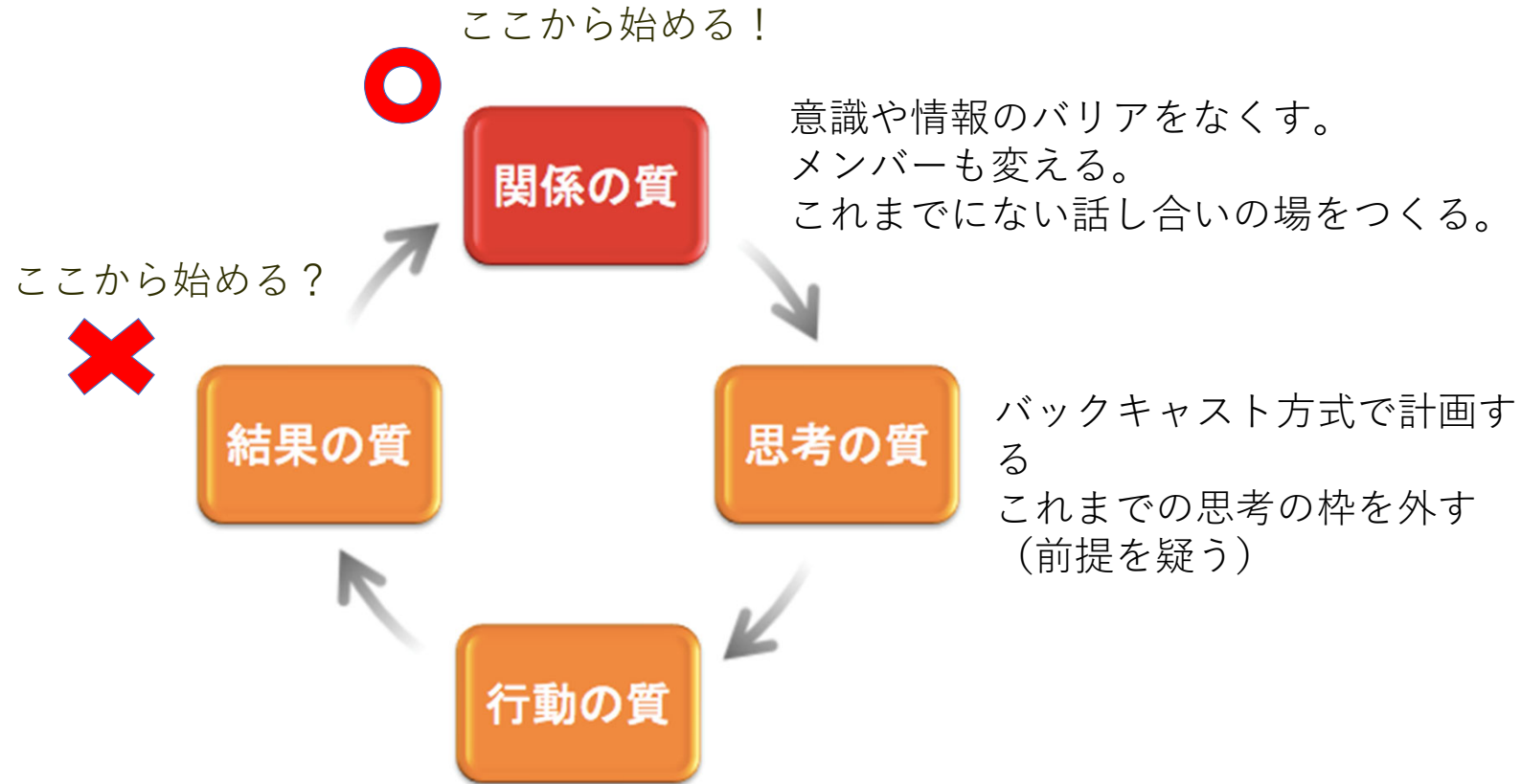
成立の要件：

- 「無料または安価で利用できる」
- 「飲食が可能」
- 「アクセスがしやすい(徒歩圏内)」
- 「常連が集まる」
- 「快適で居心地がよい」
- 「古い友人と新しい友人の両方に出会える」



アイデア10

活動や事業のグッドサイクルのために



MIT（マサチューセッツ工科大学）の教授ダニエル・キム氏が提唱した、組織の成功循環モデル